

# 山口新聞

平成 24 年 9 月 21 日 (金)

NO. 23

農地・水・環境

## 守ろう 地域の手で



②3

渋川地域は長野山101 渋川をよくする会や渋川

話し合い、みんなで考えて行動する楽しさを実感する。同時期に農事組合法人が設立され、法人内の女性たちが組織された渋川工房が、「地産地消」をモットーに地域で収穫された農産物を使用した加工品を製造販売している。

5 軒の麓に位置し、錦川上 地区会(自治会連合)と連携した収穫祭が開かれるようになり、地域外の人の交流などが始まった。よく

加工品はキムチ、かしわ餅、餅、こんにゃく、弁当、漬物などがあり、彼女たちは「地産地消」を自慢に日

り、水路延長も長い。高齢化が進んで、農業用施設の維持管理が課題となったことから、環境保全会を結成した。

### 渋川環境保全会(周南市)

## 皆で目指す魅力ある活動の拠点

々頑張っている。当初、

農業用施設の維持管理が問題で結成した保全会だが、今では地域の活性化を促進しており、魅力ある渋川地域を守っていくためには、これからの保全会の役割は重要である。

(代表、安永守)

金曜日掲載



会員の皆さん



用水路の清掃などを通して、地域に活気が出てきた

【メモ】代表 安永守  
▽会員 135 人、農家 52 戸、渋川をよくする会、上・中・下の渋川自治会、渋川清流管農組合、鹿野アグリ▽設立 2008 年 4 月▽連絡先 周南市鹿野上 1523 の 5、安永さん ☎0834・68・2821